

カルスト通信

も り

森林のたより

Karst
correspondence

2000
vol.3



カルスト森林組合

(单位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産合計	249,651,798	流動負債合計	27,018,345
固定資産		固定負債合計	91,897,760
有形固定資産合計	30,609,216	負債合計	(118,916,105)
無形固定資産合計	245,140		
外部出資合計	42,750,000		
その他の固定資産合計	7,386,816		
固定資産合計	(80,991,172)		
繰延資産	3,105,312		
資産合計	333,748,282		
資本の部		負債及び資本合計	
出資金		333,748,282	333,748,282
剰余金合計			
資本合計			

損益計算書 平成11年6月1日～平成12年5月31日まで

科 目	小 計	合 計	指 導	販 売	購 売	利 用	金 融
I 事業総損益							
1 収 益	497,371,702		1,660,190	11,710,738	27,069,784	456,481,481	449,509
2 費 用	291,383,054		2,838,765	8,516,194	22,460,517	257,171,994	395,584
事業総利益		205,988,648	△1,178,575	3,194,544	4,609,267	199,309,487	53,925

平成11年度剩余金処分案

摘要	内訳	合計
I 当期末処分剰余金		24,166,391
II 剰余金処分額		
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上	5,000,000
2 特別積立金 (うち目的積立金)		14,000,000 (7,800,000)
III 次期繰越剰余金		5,166,391

脚注 1 次期繰越剰余金中、教育情報資金は、1,500,000円である。
2 特別積立金のうち目的積立金の種類及び積立目的、積立目標額、積立基準等は次のとおりである。

種類	役員退任慰労積立金	機械車両倉庫積立金
積立目的	役員退任慰労金支給規程に基づき支給するため。	機械車両を格納する倉庫を建設するため。
積立目標額	役員退任慰労金支給規程の算定方法に依り算出した金額。	機械車両倉庫建設資金 20,000,000



來賓



総代会



議 決

21世紀を目前にして、森林業をめぐる環境は大きな転換期になり、国土の約7割を占める森林は、木材生産のみならず国土の自然環境保全や、水資源のかん養、生物の保全、景観の維持、地球温暖化防止など、豊かで安らぎのある国民生活の形成に大きく貢献している。

しかし、外材輸入の増加に伴う国産材需要の減退と木材価格の低迷により、林業の収益性が著しく悪化する中で立木価格の著しい下落は、森林所有者の造林意欲を低下させている。また、不在村所有者の増加や農林家の世代交代により、森林管理機能はさらに弱まり林業従事者の高齢化と減少は依然と進んでいる。

このような中、当組合は、広域合併後3年目にあたり「組合は、組合員のための組合である」ととの基本理念を念頭に置きながら、健全経営をするため、役職員、作業班員一丸となつて努力してまいりました。結果は、昨年のような良い数字までにはなりませんでしたが、計画以上の良い成績を納めることができました。

事業面において、木材価格の低迷にもかかわらず、組合員の受託販売が大幅に伸びた。

特に利用部門において、公団公社、県、市町から森林造成事業3億8千万円の請負事業の確保ができた。なお組合員からも1億円の受託事業利用がありました。

以上のような事業が遂行でき、かつ、このような成果を納めることができましたのは、ひとえに県並びに3市4町と公団公社、県森連をはじめ組合員各位のご支援の賜ものと深く感謝申し上げます。なお、剰余金処分については、今、倉庫を必要としておりますので特別積立金等内部留保を優先しました。

今年、職員を補充することになり、採用方法として公募したところ、公募数3名に対し70名の応募があり、これを筆記試験と面接により職員3名を新採用した。また、現業の人員が不足しているため、嘱託職員制度を作り嘱託職員を3名にした。

昨年は、技能職員が作業路工事等に従事した労務費は、直接事業費で支出しておりますが、今年は、これを改め、給与手当、賞与の科目で支出した。従つて、作業路工事や林産大型トラック運転に従事した人件費は直接事業費に含まれております。

第3回 通常総代会



執行部



総代

第3回通常総代会を平成12年7月27日午後時30分より、サンワード美祢（美祢勤労者総合福祉センター）で開催しました。総代出席者数は定員200名に対し、本人出席126名、委任出席2名、書面出席32名、合計160名で、出席率80パーセントとなり、定款の規定に達したので、総代会が成立。議長には宇部地区総代の常田泰雄氏を満場一致で選任し、第1号議案から第9号議案付帯決議まで挙手多数で可決、午後3時25分には議案の審議をすべて終了

總括事項

特集 作業路



木材搬出のコスト安が図れる作業路



○水土保全間伐作業路
おおむね 5ha の間伐
開設延長は200m以上
幅員3.0m



作業路があれば造林が容易

水土保全簡易作業路
おおむね 2ha の間伐
開設延長は100m以上
幅員2.0m
補助率 (国+県) 66%~78%
(市、町) 14%~2%

○育成单層林作業路

例：人工造林 1 haにつき300m程度開設可能
幅員3.0m
補助率 (国+県) 38%~78%
(市、町) 42%~2%

○育成複層林作業路

例：育成複層林0.1haにつき50m程度開設可能
幅員3.0m
補助率 (国+県) 38%~78%
(市、町) 42%~2%



機械化でスピードアップした作業路開設

- (注) 1.本体事業は、作業路開設年度の翌年度から起算して、2年以内に実施することになっています。
2.作業路の事業費は、本体工事の事業費と同額程度とされていますので、工事の難易によって作業路の延長が変わります。
3.市、町の嵩上げ補助の詳細は、市町の林務担当係か支所にお問い合わせ下さい。

面積、延長、幅員などは、標準的な補助基準を記載しています。
事業の種類によっては、補助の条件が違ったり、補助がない場合もあります。
条件については、ぜひお問い合わせ、ご相談ください。

お申し込み 本所森林整備課・各支所まで



ボーリングによる地質調査

名 称 カルスト森林組合倉庫新築工事
場 所 山口県美祢市大嶺町東分418番地1
延床面積 355.20 m²
設計監理 (有)東建設計
山口市大字大内御堀1322番地15
施 工 田中建設(株)
萩市大字細工町44番地

組合倉庫の建築始まる

本所倉庫の新築工事安全祈願祭が秋晴れの9月27日、伯野組合長はじめ関係者参列の中、しめやかに取り行われた。倉庫建設は、合併以来の念願であるだけに喜びもひとしお。敷地は本所事務所の裏手に隣接し、355.20m²の広さで、組合車両の収容、作業路のコンクリート横断溝製作場、良質美秋材展示場などの多目的機能を備える。竣工は12月下旬の予定。組合へお立ち寄りのさいはぜひご覧下さい。



工事安全祈願祭

管内17ヶ所で開催

美東町綾木地区の8月28日を皮切りに同日、及び29日に美東町で4ヶ所、9月4日に秋芳町で2ヶ所、9月5日に宇部市で1ヶ所、9月6日に楠町で2ヶ所、9月8日に山陽町で2ヶ所、9月18、19、20日に美祢市で5ヶ所、11月9日に小野田市で1ヶ所、計17ヶ所で地区座談会を開催した。しかし相憎くと開催日が農繁期と重なったため、出席はふるわなかつたものの全体では、組合員228名の出席があった。組合から補助事業等についての説明、これに対して、組合員からは、日頃組合へ尋ねたいこと、思っていることなどの質問、要望があった。これらの質問、要望の中で、組合にとって改善できるものは早急に対処することになった。なお、座談会には美祢農林事務所、各市町林務担当職員も出席し、行政サイドからのアドバイスもあった。



サンワーク美祢（美祢勤労者総合福祉センター）での座談会

カルスト森林組合 地区座談会

作業班紹介

今回は美祢市・村上務班をご紹介します。



下刈作業の手を休めて

需要が多いことから、吉部炭鉱（株）の杭木納入業者として独立し、事業に専念していたところ、森林組合の仕事も手伝ってもらえないかと誘いがあったのがきっかけで、組合との関係が出来、現在に至っています。

本人も山の仕事はもともと嫌いではないから、たとえきつい仕事でも苦にならないが、今年からは補助事業の下刈が2度刈になったので、人手の少ない折には、期限に追わることが多くなって迷惑をかけないかと心配だという。しかし思い通り仕事がはかどった時はやはり嬉しい。山を下りて班員の方々と一緒に

暑さも厳しい中、下刈作業の手を暫く休めてもらっての取材です。左から金子浩、村上務、中村継男の皆さんです。班長の村上務さんは班を結成して28年目、金子さんは村上班に入って15年目のベテラン、そして3年目の中村さん。3人以外は、この日あいにくと他の現場です。村上班長は、若い頃、山陽無煙（株）で働いていたが、杭木の

杯ぐっとやるビールの味は格別とか。

それに班員あげての旅行も楽しみのひとつ。最低、年に1度は4泊5日程度の国内外の旅行に出かける。過去、国内では黒部、屋久島、四国方面、海外では韓国、香港・マカオ、オーストラリア。皆と気軽な旅は日頃の苦労を忘れさせ、明日の英気を養う基だと村上班長はいう。

現在、公社、公団の仕事が大半だが、これらの手入れをした山の木々が数年後見事に成長したのを見ると感激もひとしお。また下刈後の爽快感はなんとも言えぬとのこと。

最後に村上班長はじめ班員の方々も異口同音に、山の仕事は危険がつきものなので、気心が知れないとわずかなことでも事故につながる。お互い励まし合いながらやっていきたいと、熱気をこめて語られた。班員全員の益々のご健闘をお祈りします。



下刈作業中の村上班長

表紙の写真



旭村佐々並と
美東町境にある
標高789mの男
岳西面に広がる
公団造林地内の
中程よりやや高
めを真一文字に
横断する作業路・
奥ノ切線です。
平成7年から開

設工事にとりかかり、本年で6年目。現在、総延長が5000m以上にも及ぶ龐大なものです。何分、高所で難工事ですが、作業路開設によって下刈、枝打、除間伐などの保育事業と治山管理が容易になりました。これからもますます作業路の需要が高まりそうです。

編集後記

2000.vol.3(年2回発行)

「森林のたより」の発行も第3号です。今回の特集は問い合わせの多い作業路で、補助金の目安を紹介しました。シリーズ「林家訪問」は美東町の女性林研グループ木葉会の上田稻子さん。「作業班紹介」は美祢市の村上班です。ご意見等があればぜひお聞かせ下さい。よろしくお願いします。

組合員の皆様へお願い

名義、住所の変更等がありましたら、その都度その旨を組合までお知らせ下さい。

また、ご意見、ご質問等がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1
TEL0837-52-3332 FAX0837-52-2587

本誌は再生紙を使用しています。